

<実践事例>

①校種・学年 教科等・単元名	□小学校 ■中学校	学年 1 年	教科等 国語	単元名 帯単元「よむ」					
②学校名、実践者氏名	大阪市立昭和中学校			氏名 植 田 恭 子					
③実践のテーマ	I C Tを活用しグループでの意見交流を効果的に行うことにより、自分の考えや気持ちについて根拠を明確にしてまとめる。								
④活用教具	□デジタルテレビ ■PC ■電子黒板 ■実物投影機 □録画再生装置 □デジタルカメラ □デジタルビデオカメラ □その他（ ）								
⑤活用教材名	『たんじょうびーゆたかな国とまずしい国―』レイフ・クリスチャンソン（岩崎書店）								
⑥授業スタイル	□教師説明型 □児童生徒実践型 □同時進行型 ■児童生徒発表型 □児童生徒自主学習型								
⑦教材活用時間帯	<div>開始→</div> <table><tr><td>実物投影機</td><td>10min. 読み聞かせ</td><td>20min. 静止画①</td><td>30min. 静止画②</td><td>40min. Webページ</td></tr></table> <div>←終了</div>				実物投影機	10min. 読み聞かせ	20min. 静止画①	30min. 静止画②	40min. Webページ
実物投影機	10min. 読み聞かせ	20min. 静止画①	30min. 静止画②	40min. Webページ					
⑧授業の進め方、 デジタルテレビ等 活用の仕方、	・導 入：プレゼンテーションソフトウェアや実物投影機を使って提示する。 ・展 開：電子黒板に各班の意見を提示し、ポイントとなる部分に線を引きながら説明する。 インターネットを利用して、途上国の現在の状況について見せ、考えさせる。 ・まとめ：みんなの意見さまざまな情報を提示し意見をまとめさせる。								
⑨本時の展開 (主な学習活動)	学習の流れ	主な学習活動		使用するデジタルコンテンツ					
	導入	・電子黒板に「おたんじょうび」の文字を映し、そこからイメージすることを話し合う。 ・『たんじょうび』の表紙を提示し、表紙の情報を読む。		●静止画① 『たんじょうびーゆたかな国とまずしい国―』レイフ・クリスチャンソン（岩崎書店） 					
	展開	・サブタイトル「ゆたかな国」と「まずしい国」について考える。 ・『たんじょうび』の読み聞かせ。 ・「この子」の写真の情報を読む。（静止画①）服装、視線、カメラマンの思い等写真に写っている情報すべて言葉で書く。 ・「この子へのプレゼントは？」なにがいいか、根拠を示してグループで交流しまとめる。 ・グループでまとめたものを提示しながら、ポイントとなる部分に線を引き発表する。（静止画②） ・あとがきを読み、プレゼントはこちらの一方的な押し付けではいけないことを知る。 ・さらにインターネットを使い途上国の情報を読む。 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/s_leone/ 等)		●静止画② 					
	まとめ	・「この子へのプレゼント」について再度考える。 ・次時の予告。		※写真に変更なし					
⑩児童の反応・効果	・電子黒板で見せることで、興味を持って授業に望み、集中力も高まった。 ・電子黒板に写すことで、表紙の情報も読んでいることを自覚させることができた。 ・他の班の生徒の意見をポイントを明確にしながら交流することで、より深めることができた。 ・電子黒板により学習活動、学習目標、ねらいが明確になった。 ・電子黒板による提示は学習の手引きの効果もあった。								
⑪活用のポイント	・プレゼンテーションソフトウェアで瞬時に見やすい状態にするのとは違うが、本の読み聞かせには実物投影機を活用することで、ページをめくり、拡大絵本を実際に読んでいる実感を味わわせることができる。 ・事前に機器の操作に習熟させる必要があるが、電子黒板で、ポイントとなる部分に線を書くことで全員に注目させ、考えさせることができる。 ・実物投影機による提示で、写真の情報などの読み取りや相互の意見交流(伝え合い)をスムーズに行うことができる。 ・インターネットの最新の情報を活用することができる。そのための準備として情報の価値判断が必要である。								